



「くるめ米」など市内で販売されている特別栽培米

〔環境保全型農業や有機農業の推進に向けて〕

畜産堆肥を利用した土づくりと 減農薬・減化学肥料にこだわった米の生産

J A 特別栽培米



麦の収穫後の田に、畜産堆肥を肥料として散布し、安全な土づくりを進めています。

久留米市では、3千頭を超える乳用牛が飼養されており、県内最大の生乳の生産が行われています。
家畜の排せつ物は、堆肥化され、肥料として活用されています。

J A くるめでは、畜産資源を活用した安全な土づくりを進めるために、安武町に完熟堆肥の製造施設「J A くるめ西部土づくりセンター」を整備しています。

これらの堆肥を利用した土づくりと減農薬・減化学肥料にこだわって栽培した安全で安心な美味しいお米が「特別栽培米」です。

本市では、市内の5つのJ A（農業協同組合）が共同して精米した「くるめ米」など、産地や品種ごとに差別化した特別栽培米が、道の駅くるめ、J A 農産物直売所などで販売されています。